

## 大学院特別講義

# 脳科学クラスターコアセミナーのご案内

てんかんは大脳ニューロンの過剰な発射に由来する反復性の発作を特徴とする疾患で、近年の医学の発展にもかかわらず患者数は横ばいとなっています。当院でもてんかんセンターが開設され集学的な診療に力を入れておりますが、てんかんの画像診断は難しい場合が多く、治療に難渋する場合も少なくありません。

今回、カリフォルニア大学ロサンゼルス校（UCLA）放射線科のサラモン典子教授をお招きし、大学院特別講義・クラスターコアセミナーを開催いたします。サラモン先生は UCLA Seizure Disorder Center にて最先端のてんかんの診療と研究に長年従事されております。今回、てんかん画像診断の基本から最先端までをご講演いただきます。



講師

サラモン典子 先生

カリフォルニア大学ロサンゼルス校 神経放射線科部長・放射線副主任教授

日時

2018年7月2日（月） 18:30 ~ 20:30

場所

日亜メディカルホール  
（徳島大学病院 西病棟 11階）

講師

サラモン典子 先生

カリフォルニア大学ロサンゼルス校 神経放射線科部長・放射線副主任教授

18:30 ~ 19:00 ▶ 徳島大学での研究紹介 等

放射線科の研究紹介 [放射線科 松元 友暉 先生]

神経内科の研究紹介 [神経内科 佐光 亘 先生]

てんかんセンターの紹介と症例提示

・てんかんセンターの紹介 [小児科 東田 好広 先生]

・症例提示 [脳外科 多田 恵曜 先生]

19:00 ~ 20:30 ▶ 「てんかんの画像診断

— 基本から最先端まで —」

サラモン典子 先生

※ 本講演会は、大学院医科学教育部、栄養生命科学教育部、口腔科学教育部の大学院特別講義並びにクラスターコアセミナー（脳科学クラスター）を兼ねています。